

秋田市立旭川小学校「森の学校」

東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署

9月18日、秋田市立旭川小学校5年生80名を対象に秋田市太平山自然学習センターまんたらめにて森林教室を開催しました。この活動は「総合的な学習の時間」の中で、地域の自然のすばらしさや森林の重要性について学ぶ同校からの要請により、平成27年度から実施しているものです。令和8年度は『森と木の学習』『ZORING体験』『丸太切り体験』を行いました。

menu

01



森と木の学習

森林が持つ大切な役割や林業とはどんな仕事なのか、森林の働きとSDGsとの関わりについてなど多くの内容を盛り込んで説明しましたが、子供たちは職員の話真剣に聞き取り、熱心に学んでくれていました。難易度の少々高めなクイズにも元気に手を上げて答えてくれ、高い正解率に驚かされました。

しっかり学んでくれた子供たち全員に、記念として職員が小枝で作成した『もっくん』のキーホルダーをプレゼントしました。喜んでもらえたら嬉しいです。



しっかり聞いています



答えこれだと思う人！ はい！

もっくん



menu

02



『ZORING』カードゲーム

森林整備や林業の流れについて楽しく遊びながら学べるよう東北森林管理局の職員が開発したカードゲーム『ZORING（ゾーリン）』を体験してもらいました。はじめにルールについて簡単に説明したあと、さっそく各班ごとに対戦開始！

すぐにルールを理解し、妨害の応酬や的確な防御など、初めて体験する子が多いにも関わらず白熱した戦いを繰り広げていました。時間いっぱい夢中でプレイし、終わりを告げると残念な顔をするなど、森林づくりについて楽しみながら学んでくれたようです(*^-^*)



ルール説明



笑顔で楽しむ



シカ攻撃を受けた！



引きが強い（最強カード2枚持ち）

menu

03



丸太切り体験

はじめに伐採に使う道具の進化について、昔のノコギリや現在のチェーンソーの実物を見せて説明したほか、現在使われている高性能林業機械について写真で紹介しました。その後、ノコギリを使って実際に丸太の輪切りにチャレンジ！

木を切るのはなかなか大変な作業で、「難しい」「大変だ」と子供たちは苦戦しながらも最後まで頑張って切り落とし、紙ヤスリで丁寧に磨いてきれいにしていました。磨いた輪切りは『まんたらめ』の焼き印を押してもらい、コースターとしてお持ち帰り。体験を思い出しながらぜひお家で使ってください。



今昔の道具説明



腰を入れて丸太切り



焼印入れて完成



持ってみた